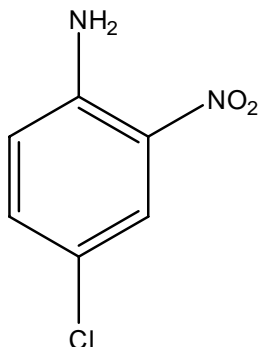


反復投与毒性・生殖発生毒性併合試験(OECD TG422)データシート

官報公示 整理番号	3-407	CAS No.	89-63-4
名称 構造式等	名 称：4-クロロ-2-ニトロアニリン 別 名：4-chloro-2-nitroaniline、2-nitro-4-chloroaniline、4-chloro-2-nitrobenzenamine 分子量：172.57 分子式：C ₆ H ₅ ClN ₂ O ₂ 構造式： <div></div>		
外観	橙色結晶性粉末		
溶解度	水に不溶(500mg/L、20℃)、エーテル、酢酸に可溶、メタノールに微溶		
分解性	難分解性		
蓄積性	低濃縮性		
純度	99.9%		
用量設定 試験	投与用量	0, 10, 30, 100, 300 mg/kg/day	
	投与期間	14 日間	
	主な結果	300：T・Cho ↑(♂♀)、肝臓 g ↑(♂♀)、T・Bil ↑(♀)、TP ↑(♀) 30：着色尿(オレンジ色)(♂♀)	
反復経口投与毒性・生殖発生毒性併合試験 (ReproTox)			
投与	使用動物	CrI:CD (SD)ラット、投与開始時 9 週齢	
	投与方法	強制経口投与 溶媒：精製水(0.1w/v%Tween80 添加 0.5w/v%CMC-Na)	
	投与用量	0, 10, 60, 300 mg/kg/day, 回復群 0、300 mg/kg/day (R300)	
	投与期間	♂42 日間、♀42-46 日間	
反復投与 毒性 主な結果	一般状態	♂♀60 以上：着色尿(オレンジ色) ♂♀300：流涎	
	行動機能 観察	影響なし	
	体重	影響なし	
	摂餌量	影響なし	
	尿	影響なし	
	血液学	♂：Hct ↓(60 以上) ♀：RET ↑(300)	
	生化学	♀：T・Bil ↑(300)	
	臓器重量	♂：肝% ↑(300, R300)、肝 g ↑(R300)、腎 g ↑(R300)、腎% ↑(300) ♀：肝% ↑(300, R300)、肝 g ↑(R300)、腎% ↑(300)	

	病理組織	♂：腎臓の近位尿細管上皮の硝子滴(α 2U グロブリン陽性)(300) ♀：脾臓の髄外造血の亢進(60 以上)
	標的臓器	腎臓、脾臓、赤血球造血系、肝臓
生殖発生 毒性 主な結果	親動物	影響なし
	児動物	影響なし
NOAEL		反復投与毒性：♂10, ♀10 生殖発生毒性：300
	推定根拠	反復投与毒性 ♂60 以上：Hct ↓ ♀60 以上：脾臓の髄外造血の亢進 生殖発生毒性 毒性影響なし
NOEL		反復投与毒性：♂10, ♀10 生殖発生毒性：300
	推定根拠	反復投与毒性 ♂60 以上：Hct ↓ ♀60 以上：脾臓の髄外造血の亢進 生殖発生毒性 影響なし
備考		

本データは、平成 19 年度ハザードデータ評価委員会（独立行政法人製品評価技術基盤機構）で評価された。